

主要行等の令和2年9月期決算の概要

1. 損益の状況（グループ連結ベース）

- 令和2年9月期は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴う与信関係費用の増加などにより、当期純利益は前年同期に比べ▲32.5%の減少。

（単位：億円）

	H30年9月期	R1年9月期	R2年9月期	前年同期比
連結業務粗利益	52,017	52,391	53,864	1,472
資金利益	24,541	23,233	24,339	1,106
役務取引等利益	16,903	16,729	16,624	▲105
その他業務利益	5,185	6,019	5,330	▲689
うち債券等関係損益*	266	3,996	3,700	▲295
経費	▲34,086	▲33,904	▲33,806	98
連結業務純益	18,390	18,808	20,388	1,580
コア業務純益*		8,041	8,795	754
コア業務純益*（除く投資信託解約損益）		8,029	8,749	720
与信関係費用**	1,498	▲1,203	▲5,826	▲4,622
株式等関係損益	2,954	1,505	86	▲1,419
親会社株主に帰属する当期純利益	17,454	15,580	10,514	▲5,066

*債券等関係損益、コア業務純益については銀行単体ベース。**与信関係費用について、正の値は益を、負の値は損を表す。

（参考）	H30年9月末	R1年9月末	R2年9月末
貸出金（末残）***	304.2兆円	304.4兆円	319.7兆円

***貸出金は銀行単体ベースの銀行勘定計。

2. 不良債権の状況（銀行単体ベース）

- 不良債権額は2年3月期に比べ増加、不良債権比率は上昇。

	R1年9月期	R2年3月期	R2年9月期
不良債権額	2.0兆円	2.1兆円	2.3兆円
不良債権比率	0.61%	0.59%	0.67%

3. 自己資本比率の状況（グループ連結ベース）

- 国際統一基準行の総自己資本比率、Tier1比率、普通株式等Tier1比率は、2年3月期に比べ上昇。

- 国内基準行の自己資本比率は、2年3月期に比べ上昇。

（国際統一基準行：4グループ）

（国内基準行：3グループ）

	R2年3月期	R2年9月期
総自己資本比率	17.00%	17.43%
Tier1比率	14.60%	15.02%
普通株式等Tier1比率	12.77%	13.12%

	R2年3月期	R2年9月期
自己資本比率	11.04%	11.27%

（注1）記載金額・比率は、四捨五入して表示。

（注2）グループ連結ベースは、みずほFG、三菱UFJFG、三井住友FG、三井住友トラストHD（以上、国際統一基準行）、りそなHD、新生銀行、あおぞら銀行（以上、国内基準行）を対象とする。

（注3）銀行単体ベースは、みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行、三菱UFJ信託銀行、みずほ信託銀行、三井住友信託銀行、新生銀行、あおぞら銀行を対象とする。